

『改訂第2版JPTECガイドブック』正誤表

2刷にて修正予定		
頁	誤り	正
p16 右段上から1行目	し、受傷後1時間できるだけ早期に手術開始につな	し、できるだけ早期に手術開始につな
p19 図2-1-3 第2段階 右ボックス	○頭部・胸部の皮下気腫	○頸部・胸部の皮下気腫
p36 脚注内2行目	脈拍においては頻脈(100回/分以上)を速い、徐脈(60回/分以下)を「遅い」とする。	脈拍においては頻脈(100回/分以上)を「速い」、徐脈(60回/分以下)を「遅い」とする。
p86 図2-4-48 左図 上から7行目	橈骨・正中・正骨神経損傷	橈骨・正中・尺骨神経損傷
p86 図2-4-48 右図 下から1行目	頸骨・腓骨神経損傷	脛骨・腓骨神経損傷
p92 ポイント18行目	瞳孔観察(瞳孔径・対光反射、共同偏視などの眼球運動の異常の有無)	瞳孔観察(瞳孔径・対光反射)、共同偏視などの眼球運動の異常の有無
p98 「1. 概念」の項 上から5行目	椎・頸髄損傷を生じる可能性がある。頸髄損傷があ	椎・頸髄損傷を生じる可能性がある。頸髄損傷があ
ポケットリファレンス ロードアンドゴーの図 第2段階 右ボックス	○頭部・胸部の皮下気腫	○頸部・胸部の皮下気腫

2016/5/11